

2018年10月10日

各 位

会 社 名 イオン九州株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 柴田 祐司
(コード：2653、JASDAQ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 平松 弘基
(電話番号 092-441-0611)

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 勉
(コード：3171、JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理統括部長 篠崎 岳
(電話番号 092-433-1228)

会 社 名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード：8267、東証第一部)
問合せ先 執行役環境・社会貢献・PR・IR担当 三宅 香
(電話番号 043-212-6042)

イオン九州株式会社、マックスバリュ九州株式会社及びイオンストア九州株式会社の 経営統合（株式移転）に向けた基本合意書締結に関するお知らせ

イオン九州株式会社（以下「イオン九州」といいます）、マックスバリュ九州株式会社（以下「MV九州」といいます）及びイオンストア九州株式会社（以下「AS九州」といいます）は本日開催の取締役会決議に基づき、イオン株式会社（以下「イオン」といいます）は代表執行役の決定に基づき、イオン九州、MV九州及びAS九州の経営統合（以下「本経営統合」といいます）に関する基本合意書（以下「本基本合意書」といいます）を締結いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 本経営統合の目的

イオングループでは、2017年12月に、2020年に向けての中期経営方針において、「リージョナルシフト」「デジタルシフト」「アジアシフト」及びそれらに連動する「投資のシフト」の4つをグループの変革の方向性として掲げており、事業を展開するそれぞれの地域・領域でNO.1の集合体を目指しています。

その実現に向けて、スーパーマーケット（以下「SM」といいます）事業においては、ドラッグストアやコンビニエンスストア、Eコマースなど競争のボーダレス化による競合環境の激化やお客さまの生活スタイルの変化、健康志向、低価格志向、即食需要の増加など嗜好の変化等に対応するために、地域ごとに一定以上の規模を有する企業体となり、地域商品の開発、物流、デジタル化への投資を強化し、お客さまへの便利さを提供し続け、最も地域に貢献する企業に成長する必要があります。

このような中、イオン九州及びMV九州の親会社であり、AS九州の完全親会社であるイオンは当該中期経営方針において、SM改革の今後の方向性を示しました。

これを踏まえ、九州エリアにおいて事業を展開するイオン九州、MV九州、AS九州は、本経営統合により持株会社体制となり経営資源の最適化を実現することで、「九州でNO.1の信頼される企業」を目指すことを確認いたしました。

食品事業においては、お客さまの食に対する嗜好の多様化やデジタル化に対応し、九州の食文化の向上に資することにより、九州エリアにおける市場シェアNO.1を目指して相互の経営資源・ノウハウの共有化を推進するとともに、商品調達力の強化や物流機能の効率化によるシナジーの極大化に努め、「食」に関するあらゆるニーズを満たす「フードソリューション企業」を目指してまいります。

非食品事業においては、デジタル化やお客さまの生活スタイルの変化に対応するため、食品以外の衣料品・住関連品においても、「物販」「サービス」をはじめとする専門店の集合体として生まれ変わり、多様化するお客さまのニーズにお応えする企業を目指してまいります。

持株会社は、全体の本社機能を持ち、経営資源の最適化による、シナジー効果の極大化、ショッピングセンターの価値向上、物流やデジタル化に向けたインフラの強化に努め、食品・非食品の強みを最大限に発揮してまいります。

2. 本経営統合の要旨

(1) 本経営統合の方式

イオン九州、MV九州及びA S九州の共同株式移転によって3社の完全親会社（以下「本持株会社」といいます）の設立（以下「本株式移転」といいます）を行う方法により統合する基本方針のもと本経営統合を進める予定であります。

本経営統合後、本持株会社傘下のイオン九州、MV九州及びA S九州の3社を食品事業会社と非食品事業会社に再編（以下「本持株会社傘下での再編」といいます）することを視野に入れて、当事者にて協議・検討を行う予定です。

(2) 本経営統合の日程

本基本合意書締結日	2018年10月10日
本株式移転に関する共同株式移転計画の取締役会決議	2019年4月中旬（予定）
定時株主総会における共同株式移転計画承認決議	2019年5月下旬（予定）
イオン九州及びMV九州の上場廃止	2019年8月下旬（予定）
本株式移転の効力発生日、及び本持株会社の株式上場日 （東京証券取引所JASDAQ市場に上場予定）	2019年9月1日（予定）

(3) 本株式移転に係る割当ての内容

本株式移転における株式移転比率は、今後実施するデュー・ディリジェンスの結果及び第三者算定機関による株式移転比率算定の結果等を踏まえて、本株式移転に関する最終契約締結までに決定いたします。

(4) 本持株会社の上場申請に関する事項

本持株会社の株式については、東京証券取引所JASDAQ市場に新規上場申請を行う予定です。上場日は、本株式移転の効力発生日である2019年9月1日を予定しております。

なお、それに伴い、イオン九州及びMV九州は上場廃止となる予定です。

3. 本経営統合の当事会社の概要

(1) 会社概要

名称	イオン九州株式会社	マックスバリュ九州株式会社	イオンストア九州株式会社
所在地	福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号	福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号	福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 柴田 祐司	代表取締役社長 佐々木 勉	代表取締役社長 平松 弘基
事業内容	衣料品、食料品、住居余暇商品、ホームセンター商品等の小売事業	スーパーマーケット事業	衣料品、食料品、住居余暇商品等の小売事業
資本金	3,156 百万円	1,604 百万円	10 百万円
設立年月日	1972 年 6 月 29 日	2002 年 3 月 25 日	2015 年 6 月 8 日
発行済株式数	18,807,119 株	7,551,795 株	2,000 株
決算期	2 月末	2 月末	2 月末
従業員数	2,761 人	1,454 人	574 人
主要取引先	イオントップバリュ株式会社 イオンリテール株式会社 三菱食品株式会社 株式会社マックスゲームズ 資生堂ジャパン株式会社 株式会社ショクリュー 加藤産業株式会社 株式会社ワコール	イオンリテール株式会社 イオントップバリュ株式会社 加藤産業株式会社 株式会社日本アクセス 株式会社山星屋 ホシザキ南九株式会社 株式会社河淳	イオントップバリュ株式会社 イオンリテール株式会社 株式会社アルティフーズ 三菱食品株式会社 株式会社あらた 株式会社ショクリュー 株式会社リードヘルスケア 株式会社日本アクセス
主要取引銀行	株式会社西日本シティ銀行 株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社日本政策投資銀行 株式会社肥後銀行	株式会社西日本シティ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社肥後銀行 株式会社鹿児島銀行 株式会社大分銀行	株式会社西日本シティ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 ※資金の調達は親会社であるイオン株式会社からの借入が 100% (2018/2/28 時点)
大株主及び持株比率	イオン株式会社 62.7% イオン九州社員持株会 2.8% マックスバリュ西日本株式会社 2.5% イオン九州共栄会 2.5% 株式会社コックス 1.9% 九州電力株式会社 1.7% イオンフィナンシャルサービズ株式会社 1.5% ミニストップ株式会社 1.5% 株式会社西日本シティ銀行 1.3% 株式会社大分銀行 1.1%	イオン株式会社 77.00% マックスバリュ九州従業員持株会 1.87% マックスバリュ九州共栄会 1.66% 横尾由佳 0.67% 株式会社エーブル 0.51% 山本ススミ 0.50% ミニストップ株式会社 0.43% マックスバリュ西日本株式会社 0.40% 加藤産業株式会社 0.39% 三菱食品株式会社 0.39%	イオン株式会社 100%

当事会社間の関係	
資本関係	記載すべき事項はございません。
人的関係	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン九州の取締役1名がAS九州の代表取締役社長を兼任しております。 ・イオン九州の監査役1名がAS九州の監査役を兼任しております。 ・イオン九州からAS九州へ397名出向しており、AS九州からイオン九州へは30名出向しております。
取引関係	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン九州はAS九州の店舗運営業務を受託しています。 ・MV九州とイオン九州間で一部営業店舗の賃貸借契約を締結しています。
関連当事者への該当状況	イオン九州、MV九州及びAS九州はいずれもイオンの子会社であり、関連当事者に該当いたします。

(注1)2018年2月28日現在。ただし、特記しているものを除きます。

(注2)従業員数には、パートタイマーの期中平均人数を含めておりません。

(2) 最近3年間の経営成績及び財政状態

① イオン九州 (単体)

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
純資産	13,984百万円	14,277百万円	14,070百万円
総資産	103,523百万円	98,659百万円	96,376百万円
1株当たり純資産	742.54円	758.64円	747.19円
売上高	223,317百万円	218,622百万円	214,714百万円
営業利益	△186百万円	779百万円	874百万円
経常利益	△29百万円	947百万円	1,377百万円
当期純利益	△2,047百万円	408百万円	101百万円
1株当たり当期純利益	△109.04円	21.72円	5.40円
1株当たり配当金	10円	10円	10円

② MV九州 (単体)

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
純資産	12,031百万円	12,973百万円	13,609百万円
総資産	35,339百万円	36,102百万円	36,113百万円
1株当たり純資産	1,591.23円	1,712.61円	1,794.02円
売上高	155,037百万円	170,353百万円	175,211百万円
営業利益	2,054百万円	2,619百万円	2,146百万円
経常利益	2,131百万円	2,647百万円	2,170百万円
当期純利益	474百万円	1,117百万円	900百万円
1株当たり当期純利益	63.06円	148.34円	119.36円
1株当たり配当金	30円	40円	30円

③ AS九州 (単体)

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
純資産	10,829百万円	7,674百万円	6,523百万円
総資産	33,884百万円	30,622百万円	27,920百万円
1株当たり純資産	5,414,782円	3,837,490円	3,261,566円
売上高	29,682百万円	58,765百万円	54,335百万円
営業利益	△855百万円	△2,685百万円	△1,489百万円
経常利益	△1,215百万円	△2,860百万円	△1,728百万円
当期純利益	△811百万円	△3,154百万円	△1,151百万円
1株当たり当期純利益	△405,569円	△1,577,292円	△575,923円

(注1)AS九州の2016年2月期の数値は半期分です(2015年9月1日(株)ダイエーより事業承継開始)

4. 本経営統合後の本持株会社の状況

本経営統合後の本持株会社の商号や本店所在地、代表者及び役員の構成、組織等につきましては、今後、イオン九州、MV九州及びAS九州で協議の上決定いたします。

5. 統合準備委員会及び分科会

本基本合意書締結後速やかに、本経営統合に関して集中的に協議を行うために統合準備委員会及び分科会を設置し、本経営統合後の体制、統合効果等を検討してまいります。

6. 今後の見通し

本経営統合の効力発生は2019年9月1日を予定しているため、本経営統合がイオン九州及びMV九州の当期の業績に与える影響は軽微なものを見込んでおります。また、次期業績につきましては、確定次第お知らせいたします。

以 上

(参考) イオン九州の当期業績予想 (2018年4月11日公表分) 及び前期実績

	営業収益	営業利益	経常利益	当期 純利益
当期業績予想 (2019年2月期)	233,000 百万円	1,000 百万円	1,100 百万円	200 百万円
前期実績 (2018年2月期)	232,076 百万円	874 百万円	1,377 百万円	101 百万円

(参考) MV九州の当期業績予想 (2018年4月11日公表分) 及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益
当期業績予想 (2019年2月期)	178,000 百万円	2,500 百万円	2,500 百万円	1,000 百万円
前期実績 (2018年2月期)	175,211 百万円	2,146 百万円	2,170 百万円	900 百万円